



KIMOTO

株主通信

平成24年3月期（第52期）

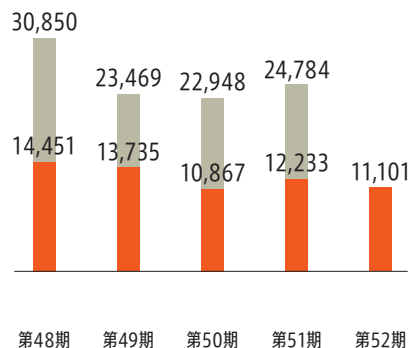
第2四半期

〔証券コード: 7908〕

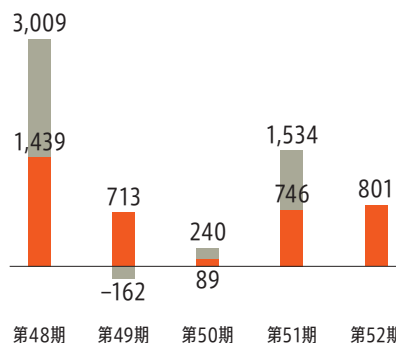
決算ハイライト[連結]

第2四半期 通期

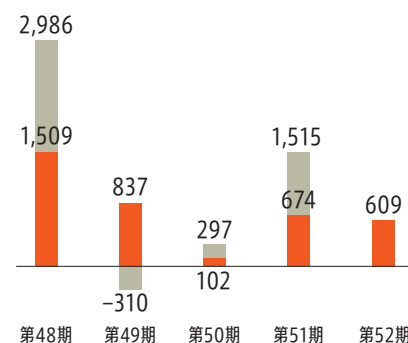
売上高 [百万円]



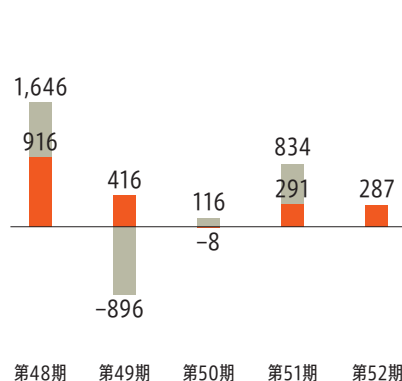
営業利益 又は 営業損失 [百万円]



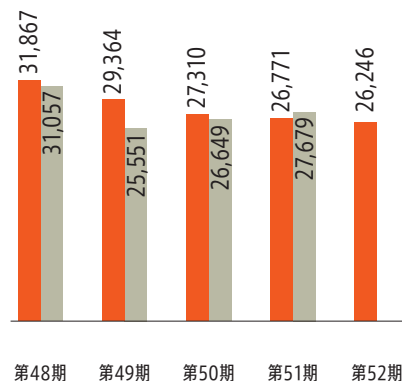
経常利益 又は 経常損失 [百万円]



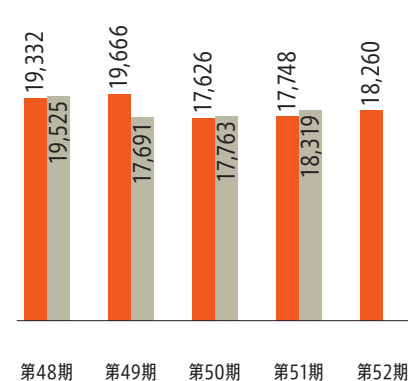
純利益 又は 純損失 [百万円]



総資産 [百万円]



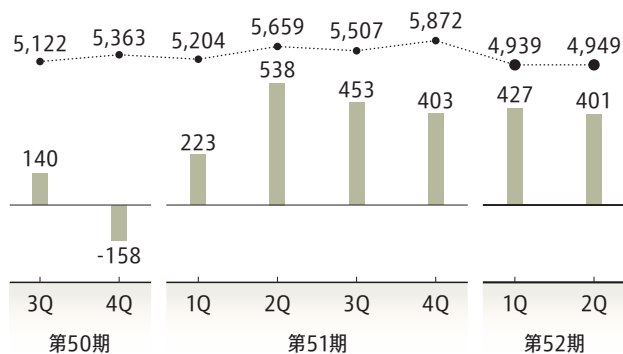
純資産 [百万円]



セグメント別概況

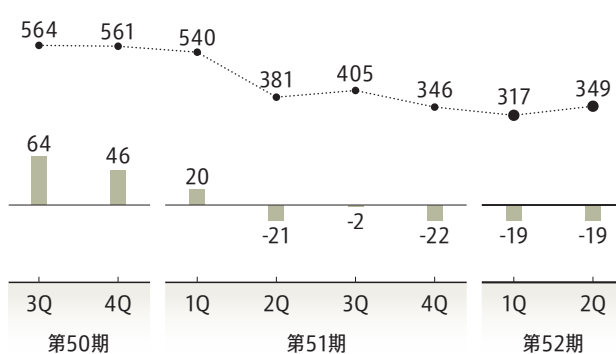
日本

主力製品であるタッチパネル用ハードコートフィルムは、スマートフォン、タブレットPC向けに高付加価値品を中心に推移しました。また、工程用保護フィルムはタッチパネル製造業向けに大幅に伸び、デジタルカメラ向け光学遮光フィルムも堅調に推移しましたが、仕入れ商品販売を減少させたことにより減収となりました。利益面では、高付加価値品の増加や経費削減効果により営業利益は増加しました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は9,889百万円（前年同四半期比9.0%減）、営業利益は829百万円（同8.8%増）となりました。



北米

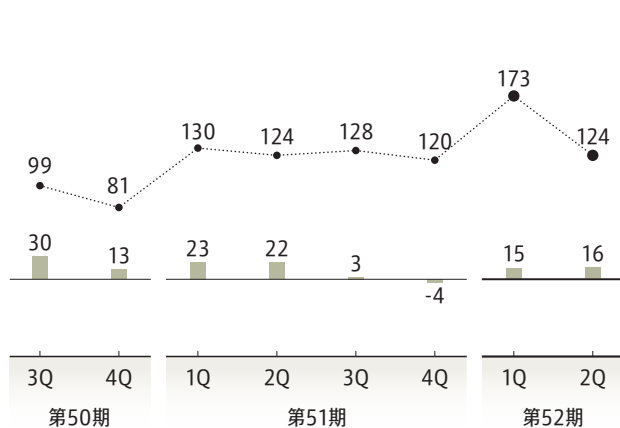
新規市場向けハードコートフィルムの売上が増加しましたが、既存市場向けハードコートフィルムの売上が減少しました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は666百万円（前年同四半期比27.6%減）、営業損失は38百万円（前年同四半期の営業損失は0百万円）となりました。





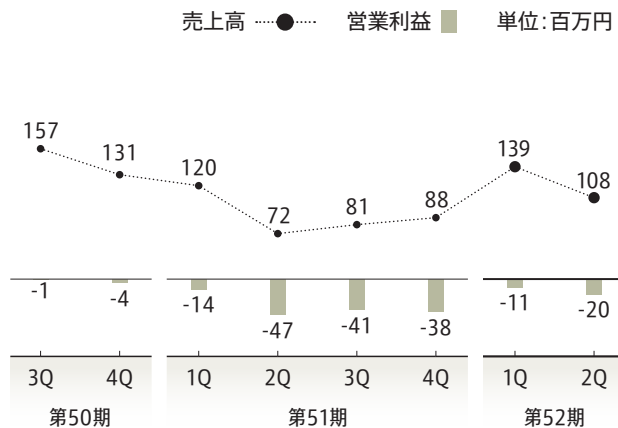
東アジア

工程用粘着フィルムの販売が大幅に伸びたことで売上が増加しましたが、地理情報サービスの受注が大きく減少したことにより減益となりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は297百万円（前年同四半期比16.6%増）、営業利益は32百万円（同29.6%減）となりました。



欧州

中小型インクジェットプリンターの販売は不調でしたが、液晶バックライト用部材加工の受注が伸びたことにより売上が増加しました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は247百万円（前年同四半期比28.4%増）、営業損失は31百万円（前年同四半期の営業損失は61百万円）となりました。



会社の概要

名称	株式会社きもと		
所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目19番1号		
設立	昭和36年2月9日		
事業内容	●電子・電機機器用、プリント回路用、光学機器用、情報機器用、環境測定用等各種フィルムの製造及び販売 ●コンピュータ出力用、設計用、印刷用、サイン・グラフィックス用等各種フィルム並びに用紙の製造及び販売 ●航空写真及び諸種図面の撮影並びに複製に関する事業 ●測量、デジタル写真測量、地図編纂、地図印刷 ●コンピュータ情報処理サービス並びにソフトウェアの開発及び販売		
従業員	628名（平成23年9月末）		
取引銀行	（株）三菱東京UFJ銀行、（株）みずほ銀行、（株）りそな銀行 他		
営業拠点	本店／東京都新宿区 支店／札幌、仙台、名古屋、大阪、福岡 営業所／筑波 海外事務所／台湾（台北）		
工場	三重県（いなべ市）、茨城県（古河市）		
研究所	埼玉県（さいたま市）		
役員	代表取締役社長	木本和伸	
	取締役	笹岡芳典	
		下里桂司	
		安田 茂	
		杉山靖典	
	常勤監査役	船山研一	
		関 功	
	監査役	柏原慶憲	
		蘆原 信	

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日
剰余金の配当の基準日	毎年3月31日及び毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座の場合	● 郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社証券代行部 ● 電話問合せ先 0120-288-324（フリーダイヤル） ● お取扱店 みずほ銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店 ● 公告掲載新聞 日本経済新聞

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 23 年 4 月 1 日から 9 月 30 日まで）の決算をご報告申し上げます。

当社グループは、当連結会計年度よりスタートした第三次中期経営計画に基づき、タッチパネル用ハードコートフィルムを中心としたフラットパネルディスプレイ向け製品を戦略製品と位置付け、その開発と販売に注力してまいりました。営業面においては、エレクトロニクス製品の世界的な製造拠点である東アジア地域をターゲットとして積極的な営業を展開いたしました。また、グループを挙げた経費削減を継続し、経営効率のさらなる改善を進めています。

タッチパネル用ハードコートフィルムは、スマートフォン、タブレット PC 向けに高付加価値品が増加しました。また、工程用保護フィルムはタッチパネル向けに大幅に伸び、デジタルカメラ向け光学遮光フィルムも堅調に推移しましたが、液晶バックライト用フィルムの販売が減少したことに加え、仕入商品販売を減少させたことにより減収となりました。

利益面では、高付加価値品の増加や経費削減効果により営業利益は増加しましたが、円高の進行を受けて為替差損が発生したため四半期純利益は減少しました。

これらの結果、当第 2 四半期連結累計期間における売上高は 11,101 百万円（前年同四半期比 9.3 % 減）、営業利益は 801 百万円（同 7.4 % 増）、経常利益は 609 百万円（同 9.6 % 減）、四半期純利益は 287 百万円（同 1.4 % 減）となりました。

以上の結果を受けまして、誠に遺憾ながら 5 月に発表しました通期の業績見通しを下方修正いたしました。当初計画していた目標を達成できなかったことを関係者の皆様に対し心よりお詫び申し上げます。当第 2 四半期決算に関する分析および通期業績見通しの詳細、また今後の施策等につきましては、11 月 15 日に行った機関投資家・証券アナリスト向けの決算説明会の模様を当社 Web サイトにて公開しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

自然災害（地震・台風・水害）および原子力発電所事故の影響で従来の生活を取り戻せずに生活していらっしゃる方たちのお気持ちを考えると心が痛みます。

今後も株主の皆様のご期待に長期にわたりお応えできるよう、KIMOTO グループ全員一生懸命働きます。何卒かわらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
木本 和伸

連結財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結貸借対照表

[百万円]

資産の部	当第2四半期末	前期末
	平成23年9月30日現在	平成23年3月31日現在
流動資産	16,344	17,056
現金及び預金	8,379	8,185
受取手形及び売掛金	5,683	6,436
有価証券	—	300
商品及び製品	663	659
仕掛品	764	692
原材料及び貯蔵品	514	397
繰延税金資産	278	281
その他	108	145
貸倒引当金	△47	△41
固定資産	9,902	10,623
有形固定資産	7,201	7,643
建物及び構築物（純額）	3,893	4,168
その他（純額）	3,307	3,474
無形固定資産	180	238
投資その他の資産	2,520	2,741
投資有価証券	1,492	1,725
その他	1,085	1,073
貸倒引当金	△57	△57
資産合計	26,246	27,679

負債の部	当第2四半期末	前期末
	平成23年9月30日現在	平成23年3月31日現在
流動負債	5,327	6,544
支払手形及び買掛金	3,466	3,833
1年内返済長期借入金	391	391
未払法人税等	251	753
賞与引当金	301	402
その他	916	1,162
固定負債	2,658	2,816
社債	20	62
長期借入金	970	1,166
退職給付引当金	1,580	1,499
その他	88	87
負債合計	7,985	9,360
純資産の部		
株主資本	18,866	18,685
資本金	3,274	3,274
資本剰余金	3,427	3,427
利益剰余金	12,477	12,296
自己株式	△313	△313
その他の包括利益累計額	△605	△365
その他有価証券評価差額金	98	149
為替換算調整勘定	△703	△514
純資産合計	18,260	18,319
負債純資産合計	26,246	27,679

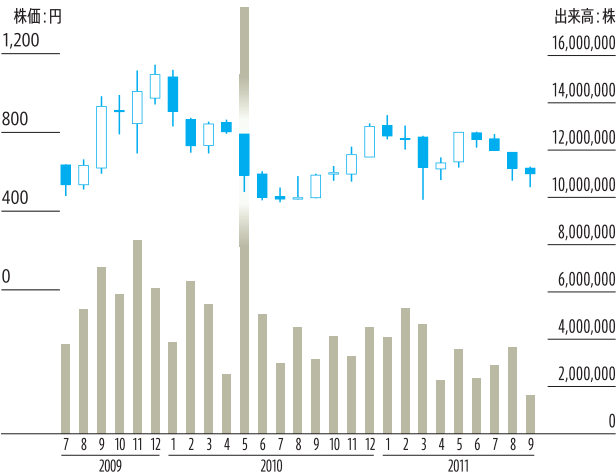
連結損益計算書

	[百万円]	
	当第2四半期(累計) (平成23年4月1日～ 9月30日)	前年同期 (平成22年4月1日～ 9月30日)
売上高	11,101	12,233
売上原価	7,951	8,918
売上総利益	3,150	3,314
販売費及び一般管理費	2,348	2,568
営業利益	801	746
営業外収益	62	99
営業外費用	254	172
経常利益	609	674
特別利益	7	22
特別損失	89	170
税金等調整前四半期純利益	527	526
法人税等	240	235
少数株主損益調整前四半期純利益	287	291
四半期純利益	287	291

連結キャッシュ・フロー計算書

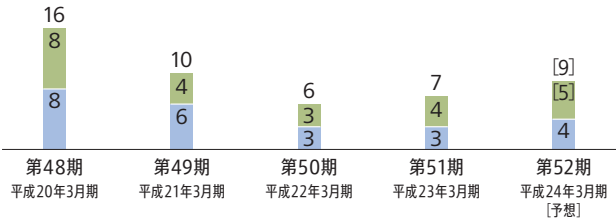
	[百万円]	
	当第2四半期(累計) (平成23年4月1日～ 9月30日)	前年同期 (平成22年4月1日～ 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	505	1,664
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△355	△354
現金及び現金同等物に係る換算差額	△253	△159
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△209	1,171
現金及び現金同等物の期首残高	8,419	5,099
現金及び現金同等物の当期末残高	8,210	6,271

株価の推移



1株あたり配当金

[円]

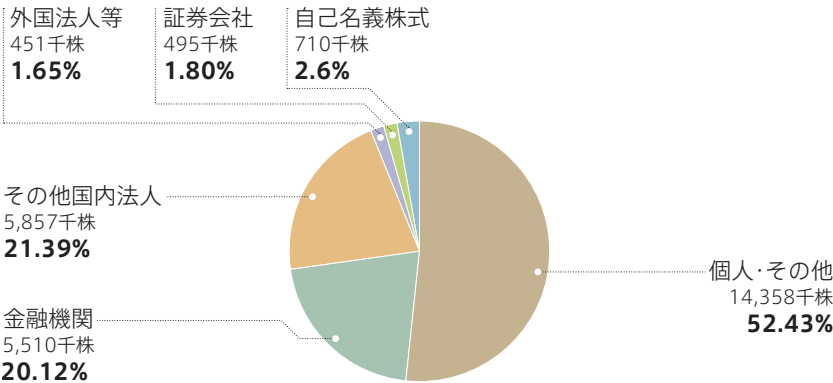


配当政策

連結ベースでの業績に応じた利益配分の指標として、年間連結配当性向20%以上を基準とし、目標値は30%を掲げています。

株式の状況 [平成23年9月30日現在]

発行可能株式総数 90,000,000株
発行済株式の総数 27,386,282株
株主数 7,450名
所有者別持株数



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
きもと共栄会	2,617	9.81
きもと従業員持株会	1,885	7.07
株式会社精和	1,801	6.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,417	5.31
木本和伸	1,190	4.46
東レ株式会社	1,052	3.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	935	3.51
株式会社三菱東京UFJ銀行	820	3.07
東京中小企業投資育成株式会社	742	2.78
株式会社みずほ銀行	500	1.87

[注]・当社は自己株式を710千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。
・持ち株比率は自己株式を控除して計算しています。
・信託銀行等の信託業務に係る株式数については、当社として網羅的に把握することができないため、株主名簿上の名義での保有株式数を記載しています。

